

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すりーぷーす 南風		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 17日		～ 令和6年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	100	(回答者数) 99
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 17日		～ 令和6年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん一人一人に合わせた満足度の高い支援	理学療法士又は作業療法士による個別支援を実施しています。支援実施に当たっては、担当となる支援者がお子さんやご家族のご希望や思いを伺ったうえで、専門職としての評価を行い、支援を実施しております。半年ごとのモニタリングとともに、毎回、保護者の方と日々の生活状況について共有しています。	ご家族の状況に合わせて、そのときどきで主に取り組む課題を随時検討しながら支援を行います。今はどんなことに取り組むときなのか、サービスや社会資源情報などの専門的な知見を高めています。
2	活動スペース・環境の提供	身体を大きく動かしたり、スイングやスパイダーなどの大きな道具を使うことができるよう広いスペースを設けています。また、1回の時間で最大2名までの支援とし、スペースや道具の利用などは時間内で随時相談しながら使用しています。	支援内容により、活動スペース・環境が合わない時は、その都度相談しながら対応しております。新年度にはそれぞれの経験も踏まえて、環境を考慮していきます。
3	保護者との情報共有	毎回、保護者同伴の元、支援を行っています。状況によっては、保護者との情報共有の時間を多めに取り、不安感が減り、満足感を持ってもらえるよう努めています。	お子さんと保護者が一緒に来所するため、お子さん自身は保護者に聞かれたくないこと、保護者がお子さんに聞かれたくないことがある場合には相談が難しいこともあります。状況に合わせて、部屋を分ける等、話しやすい環境を作っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応についての発信が不十分	半年に1回、防災用品の確認や避難訓練を行っています。避難訓練は、来所される方にご協力いただき、参加して頂いていますが、1回に1組～2組の方に参加いただいております。また、SNSや事業所での提示で結果の報告を行っておりますが、全体に周知されていません。	避難訓練結果の提示場所を変更したり、年度が替わるタイミングなどに、掲示物や事業所からの発信内容を改めて周知します。
2	研修会や保護者会の開催	利用されるお子さんのニーズ、課題等が多岐にわたるため、「こつこう会を開きます」というものを、すべての利用者様に共通に提示することが難しいです。	不定期ですが、年に数回、希望者参加の「保護者会」や「おやじ会」を設けています。今後もう少し開催していきます。
3	他者との交流が少ない	主に個別支援を行っているため、交流は少ないのが現状です。支援には保護者の方に同席いただいております。保護者の方から相談があった際には、状況に応じて保護者様同士でお話ができるように環境を整えています。	お子さんの状況やご家族のご希望により、交流が必要なときには、随時対応していきます。また、イベントなどでは、地域の方にもご協力、ご参加いただけるようにするなど、交流の機会を設けていきます。